

公益財団法人全国高等学校体育連盟空手道専門部
代表選手選考制度

1. 目的

高等学校空手道の競技力向上事業として、人物・技術共に優秀な選手を認定し、国内において全国高体連空手道専門部の代表として各種行事・大会に参加する。また、世界（アジア・東アジア）ジュニア&カデット大会、国際交流大会等に派遣する選手を選考するためにこの制度を設ける。

2. 代表選手選考制度の区分と選考基準

(1) 代表候補選手

組手：全国高校選抜大会において、個人組手ベスト4（男女各3階級）及び団体組手ベスト8以上のチームから各1名を監督が選び、強化部からの推薦を受けて全国専門部常任委員会で承認した選手。〔男女各20名〕
全国選抜大会地区予選個人組手の優勝者等で、ユースオリンピック出場資格を満たす選手各階級1名。
〔男女各3名〕

形：全国高校選抜大会において、個人形ベスト4以上。〔男女各4名〕

(2) 代表選手

組手：全国高校総体において、個人組手ベスト16及び団体組手ベスト8以上のチームから各1名を監督が選び、強化部からの推薦を受けて全国専門部常任委員会で承認した選手。〔男女各24名〕
全日本選手権大会個人組手ベスト16。

形：全国高校総体において、個人形ベスト4。〔男女各4名〕
全日本選手権大会個人形出場。

共通（組手・形）：国体3位以上、国際大会（世界・アジア・東アジアジュニア&カデット選手権）出場者。

※ 代表選手のうち1年生又は2年生の選手は、同年度の全国高校選抜大会の出場権が与えられる。

監督推薦における注意事項

監督は団体組手登録メンバーより選考することを原則とし、ユースオリンピックに参加の出来得る選手を推薦する。

参考：2018ユースオリンピック出場資格

2001年1月1日から2002年12月31日生まれで、2018年6月30日現在満16から17歳までの選手。

3. 代表選手の認定

- 代表候補選手 全国高校選抜大会終了後
- 代表選手 全国総体、国体、国際大会、全日本選手権、全国選抜大会地区予選大会終了後。

昭和56年度全日本高校空手道代表選手制度施行

平成23年3月1日より改正して行う

平成23年7月29日より改正して行う

平成25年8月5日より改正して行う

平成26編8月1日より改正して行う

平成29年7月28日より改正して行う